

2009 年 12 月号 No.038

2009 年 12 月 2 日発行

月刊
かわごえ環境ネット



目次

かわごえ環境ネットの活動報告（4 題）	2-7
「北公民館かんきょう祭り」エコキャップで盛り上がる	7-8
新河岸川をめぐる 3 題	8-9
川越市からの報告・おしらせ（2 題）	9
近隣市の環境行政「富士見市」（3 題）	10
理事会・専門委員会からの活動報告（2 題）	11-12
これから開催されるイベント等のおしらせ	12-15
おしらせ・編集後記・イベントカレンダー	15-16

電気自動車の導入で CO₂ 削減を！



電気自動車「i-MiEV」

地球温暖化に伴い、主な原因となっている CO₂ の削減が急務とされております。その中で運輸部門における CO₂ 排出量は、国内全体の排出量のうち約 2 割を占めており、このうち 9 割は自動車から排出されています。電気自動車は発電時の CO₂ 排出量を加味してもガソリン車と比較して CO₂ を約 1/4 に抑制できることから、CO₂ 削減に大きな効果があると期待されております。またコスト的にも電気自動車の燃料費は昼間電力で 1/3、夜間電力では 1/9 で済みます。

電力業界では、メーカーと協力して電気自動車の開発に取り組んできました。東京電力と富士重工業が「R1e」を開発し、その後「プラグ・イン・ステラ」として製品化。東京、関西、中国、九州の 4 電力会社は三菱自動車工業と「i-MiEV」（アイミーブ）を製品化しました。東京電力では、保有する業務車両約 8,500 台のうち 2009 年度中に 310 台程度、将来的には 3,000 台まで電気自動車を導入していく計画です。これにより年間約 2,600t の CO₂ 削減効果が見込まれます。なお、電力業界全体では 2020 年度までに電気自動車約 1 万台を業務車両として導入する計画を掲げています。東京電力川越支社でも現在、4 台の電気自動車が稼働しており、今年度中にはあと 3 台増車する予定です。

「低炭素社会」の実現に向けて、一層のエネルギー利用効率化の推進や低炭素エネルギーへの移行などの対策が望まれる中、電気自動車の普及が重要な役割を担うのではないのでしょうか。

かわごえ環境ネット理事（東京電力株式会社 川越支社）船橋一夫

かわごえ環境ネットの活動報告

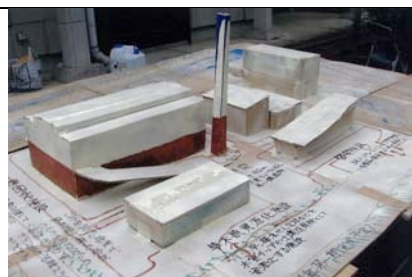
「2009 アースデイ・イン・川越 立門前」、新しいテーマで



メイン会場である蓮馨寺の様子



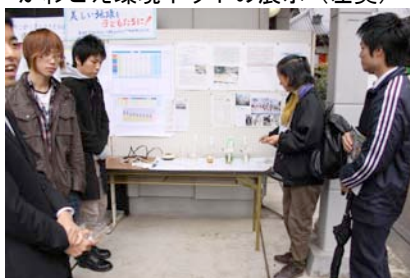
かわごえ環境ネットの展示（左奥）



資源化センターの模型



川越市の水と緑の地図（左側）



ネットワーク「かけはし」川越



生活クラブ生協埼玉 川越支部



蓮馨寺講堂会場の様子



珍しい「鼻笛」の演奏



初雁賞 34名の展示



匠の技の実演と体験



折り紙を習う子供たち



鏡山酒造跡地会場の様子

11回目を迎え、市内中心部の立門前通りでの開催が2回目になった「アースデイ・イン・川越」は、環境と国際交流をテーマに掲げ、昨年を上回る参加団体を得て10月25日（日）に開催されました。

NHKの朝ドラ「つばさ」の影響で、川越の知名度は上がりましたが、本当の川越の魅力は何かを市民みんなで話し合い、再発見しようと、テーマを「みんなで育てよう、水と緑と伝統のまち川越」とし、プログラムの真ん中に英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の表記も加えました。環境にやさしく、幅広い人々の交流に“や

すらぎ”が得られるまち“川越”をアピールしました。

メインの蓮馨寺広場では、埼玉県青空再生課、川越市の環境政策課に加え、上下水道局が「雨水対策」の啓発で参加しました。来年は緑を含めた幅広い参加が期待されます。また、本会のほか、ネットワーク「かけはし」川越、武州ガス、初雁興業等の常連が展示をしました。また、クリーン&ハートフル川越の会員が製作した市内の川と湧き水、市民の森等を書き込んだ大地図と、完成近い「資源化センター」の1/200の模型が置かれ、来場者の目を引きました。

熊野神社境内では、川越緑のサポーターや川越巨樹・古木の会、川越青年会議所 OB 自然の会などの木工体験や木の年輪数えなどで子供らが参加しました。また、EM 連絡協議会の各グループ参加による有機野菜や自然食品、焼きおにぎりなどの販売でにぎわいました。健康ロードがある参道出口では、医療生協初雁支部の血圧や体組織、骨密度の測定などが行われました。

旧川越織物市場では、入口横に昨年までの初雁賞受賞者 34 名の顔写真と業績が揃って展示され、行き交う人が立ち止まって見ていました。会場内には、あいアイ美術館の作品展示、川越と所沢のワイズメンズクラブのバザール、NPO 川越蔵の会の企画で川越の職人の伝統の技の実演と体験コーナーがあり、庭師、鍛冶、大工の

グループが技を競いました。また、日本伝統の折り紙夢工房の指導コーナーもあって、親子連れで活気がありました。

旧鶴川座前では、フォルクローレやフォークグループ、お琴や尺八の演奏がありましたが、珍しい鼻笛の演奏が集まった人の関心を集め、すばらしい芸に拍手が送られました。

今回は番外として鏡山酒造跡地のイベントホールで、ヒッポファミリークラブのパフォーマンスを中心に、国際音楽療法学院生の演奏などが披露されましたが、あいにくの曇天で人出が少なく残念でした。

来年も 10 月 24 日の第 4 日曜日の開催が決まりました。市民手作りの事務局体制でスタートします。
(武田侃蔵)

「ストップ温暖化 SAITAMA フェア」に参加して

社会環境部会



展示前で説明する松岡さん（左中）・渡辺代表（右端）

さいたま新都心のさいたまスーパーアリーナで 10 月 30 日から 11 月 3 日まで開かれた「第 21 回全国生涯学習フェスティバル・まなびピア埼玉 2009」の一環として、11 月 2・3 日の両日にわたってメインアリーナで「ストップ温暖化 SAITAMA フェア」が開かれ、かわごえ環境ネットも参加しました。

「私たちが出来る省エネ活動」のテーマで、松岡壽賀子さんの環境家計簿とエコ生活の実例を分かりやすい表と図に表しました。また、渡辺利衛社会環境部会代表の太陽光利用の例は、光で太陽光発電、太陽の熱を利用した太陽熱温水器の利用の長年のデータがグラフと表で示さ

れました。季節との関係や、機器の経年劣化に対する保守点検の関係など、分かりやすい資料にまとめ 100 名を越す人に渡しました。また、「かわごえアジェンダ 21」の紹介にも努め、関心をもたれた全国地球温暖化防止センターの山村事務局長に「かわごえアジェンダ 21」を進呈しました。3 日の午後 2 時ごろには、上田知事も来場されて各ブースを一回りしました。

隣のコミュニティアリーナでの生涯学習フェスティバルとあわせ、多くの参加者でにぎわいました。両日も、渡辺代表、松岡さん、宮澤の 3 人が交代で説明を担当しました。

参加したのは、小中学校のこどもエコクラブが 8 団体、一般団体・企業が 28 団体の計 36 団体でした。一般の中には「鴻巣の環境を考える会」「新座市四季の会」「彩の国環境大学修了生の会」などがありました。

(社会環境部会 宮澤宏次)

「さいたまエコフェスティバル 2009」に出展しました



かわごえ環境ネットのブースで説明する渡辺代表

11月8日(日)に川越水上公園において、『私たちが出来る事からはじめようエコ』をテーマに「さいたまエコフェスティバル 2009」(主催:さいたまエコフェスティバル実行委員会、後援:埼玉県・川越市ほか)が開催されました。環境エリア、企業の環境への取組エリアおよびフリーマーケットの各部門がエリアに分かれて出展しました。そのほか中学生の吹奏楽、エイサー、空手道場の実演やコタローライブなどアーティストによるパフォーマンスがありフェスティバルを盛り上げました。

来場者には、夫婦子ども連れや三世代と思われる家族連れが多く見受けられました。

環境エリアでは、川越市役所・環境政策課が「地球温暖化対策」をテーマに、取組を紹介、アンケートを呼びかけました。



多くの来場者があったフリーマーケット

かわごえ環境ネットのブースでは、自然環境部会の大辻代表、菅谷儀さんが(仮称)川越市森林公園計画地等における活動について、社会環境部会の渡辺代表、松岡壽賀子さんが太陽光発電、環境家計簿等について、パネルによりアピールをしました。

「かわごえアジェンダ 21」のチェックシート(市民編)には、50人近くの方が快く応じてくれました。今回のアンケートには、20~40代の主婦の方々が多く見受けられました。

環境に対する意識を持つきっかけになってくれることを祈り、これからの「かわごえアジェンダ 21」の活動を進めるにあたり、手ごたえを感じたフェスティバルでありました。

(社会環境部会 宮澤宏次)

◆かわごえ環境ネット「入会のご案内」を配布しています

本会は、川越市の環境に関する情報の提供や活動の場の提供、そして実践活動を行っている環境パートナーシップ組織です。会員でない方のために、本会の活動の概要を説明したパンフレットがあります。川越市役所5階にある環境政策課窓口又はホームページでご覧いただき、ぜひご入会ください。

◆かわごえ環境ネットホームページをご活用ください

本誌をカラーで見たいと思った方。ホームページではカラーでご覧いただけます。イベントカレンダーもご覧いただいた日に合わせて表示されます。ケータイからでもアクセスが可能です。ぜひご覧ください。 <http://kawagoekankyo.net>



「県民参加生き物モニタリング調査」第1回・魚類調査報告(概要) 自然環境部会

1.日時：10月12日(月曜日・祭日) 9:00-15:00

2.場所：鯨井、資源化センター及びなぐわし公園計画地周辺の湧水が流れる小河川

3.目的：生物多様性保全の促進を図るために、埼玉県より要請のあった、川越地区の野生生物モニタリング調査への参加を機に、湧水の豊富な鯨井地区の小河川での絶滅を危惧される、メダカを主体にした魚類の生息実態を調査し、埼玉県への報告と併せて、同地で進められている

河川改修工事へ、野生の生き物に配慮した形で反映させることを目的とした。

4.調査員：菅野、菅谷、猪俣、大辻

5.調査方法

- 1) 採取具：70cm サデ網
- 2) 記録事項：時刻、気温、水温、魚類名、個体数
- 3) 写真記録：採取魚類、調査風景

6.調査箇所：下図の通り



川越市資源化センター・なぐわし公園計画地周辺地図及び調査箇所
(©2009Google, 画像©2009 DigitalGlobe, Digital Earth Technology, GeoEye)

7.調査結果



調査箇所①の湧水路での調査状況。S氏宅裏庭斜面下より湧出する湧水堀。自然護岸で、水量多く、流れが速い。



調査箇所①の魚類写真。希少なアブラハヤが確認できた。ザリガニが異常に多い。メダカの確認なし。



調査箇所②の湧水路での調査状況。公園計画地西端を流れる三面コンクリート護岸水路で、水深15cm程度で土砂堆積。



調査箇所②の魚類写真。モツゴ、ドジョウ、マシジミの稚魚が確認できた。メダカの確認なし。



調査箇所③の湧水路での調査状況。公園計画地の裏側の小畔川沿いを流れるコンクリート三面護岸の湧水路。水深 15 cm程度で土砂堆積、外来種のおオカワジシャが繁殖。水の流れ速い。



調査箇所③の魚類写真。土砂が堆積し中州を形成し、おオカワジシャが群生している。アブラハヤ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、スジエビなど魚類が豊富。しかし水深浅く、流速が速いためか、メダカの確認なし。



調査箇所④・⑦の湧水堀での調査状況。公園計画地正面道路沿いに流れる湧水堀で、アシヤガマが生える自然護岸。底には、土砂が厚く堆積している。



調査箇所④の魚類写真。メダカ、アブラハヤ、カワムツ、オイカワ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、トウヨシノボリ、スジエビ、など多様な魚類が数多く確認した。



調査箇所④で確認できたクロメダカ。



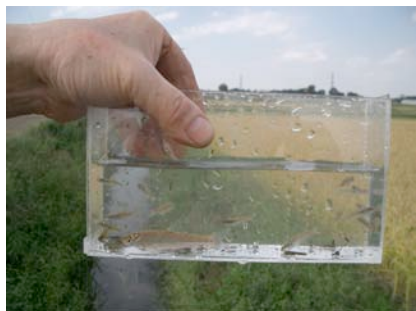
上から見たクロメダカ。



調査箇所⑧の湧水堀風景。調査箇所⑦の湧水堀が直角に曲がり、川越市資源化センター（写真右側）と、なぐわし公園計画地（写真左側）を南北に縦断する湧水堀で、アシが生い茂る自然護岸である。魚類は、メダカ、モツゴ、トウヨシノボリ、スジエビの生息を確認した。



調査箇所⑨、⑩の湧水堀での調査状況。鯨井中学校北側から湧き出した湧水が、堀となって小畔川に流れ込む農業用水路。番田堀とも呼ばれ、希少種ミクリの群生地。



調査箇所⑨、⑩で確認できた数多くのクロメダカの親子。そのほか、オイカワ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、スジエビ、トウヨシノボリ、などが確認できた。



調査箇所⑨で埼玉県絶滅危惧種のシマドジョウの生息が確認できた。



調査箇所⑩で確認された外来種のタイリクバラタナゴの幼魚。

8.まとめ

今回の調査で、この地区の湧水堀には、予想以上の種類の魚類が生息し絶滅危惧種のシマドジョウや希少種のメダカが生息している事も確認できた。特に、なぐわし公園計画地南側道路沿いの湧水堀と、鯨井中学校北側の湧水堀には、メダカをはじめ、多様で豊富な魚類が生息している事がわかった。そして、この湧水堀の共通点は、いずれも自然護岸でアシやミクリなどの

水生植物が多く生育していることである。

現在この地区の湧水堀は、川越市による「なぐわし公園計画地」として治水のための水路改修工事が進められようとしているが、この計画の推進にあたって川越市は、昨今の世界的な生物多様性保全の高まりを受けた国や埼玉県の動きを十分に認識し、地元の希少な魚類たちを大切にされた水路工事を進めることが重要である。

(自然環境部会代表 大辻晃夫)

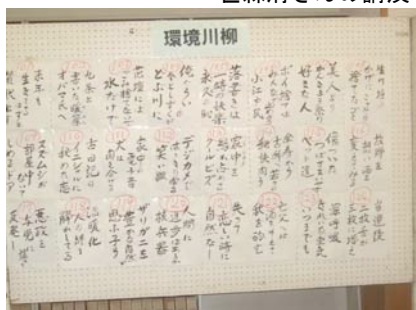
「北公民館かんきょう祭り」エコキャップで盛り上がる



笹森清さんの講演



エコキャップ活動の展示



環境標語・川柳等の掲示



環境に関する写真の掲示



にぎやかなバザール会場



市民活動の展示を見る笹森さん



「不老川応援歌」演奏の福原中吹奏楽部



元気な混声合唱の響き

9 回目を迎えた北公民館かんきょう祭りは、登録クラブがエコキャップ回収運動に参加して回収ボックスを北公民館に置いたのがきっかけで、「世界に連なる環境活動」をテーマに開くことにしました。エコキャップ 8 個で 1 本のワクチンが送ら

れることから、小さなエコ活動の広がりを再認識することにし、11月14日(土)に開催しました。

このエコキャップ推進協会の理事長が、市内在住の笹森清元連合会長で、多忙のなか快く講演を引き受けてくれました。この運動の広がりは子供

らの純真な心の連鎖から大きな運動になった経過と、日本の政治と世界情勢のつながりを織り交ぜながらの1時間の話で、参加者の感銘を得ました。

館内は、かんきょう標語・川柳・都都逸・写真の公募作品の掲示、バザールや有機野菜の販売、血圧や体組成、骨密度の測定などがあり、2階は市環境政策課や各市民団体の活動内容の展示があり、笹森さんも一回りしながら、活発な市民活動に認識を新たにすると感想を語っておりました。

1階の講座室では、合唱や太極拳などの登録団

体の演技が行われました。また、不老川の浄化に尽力した福原地区の人が作詞した「不老川応援歌」が、福原中学校吹奏楽部と女声合唱バーベナコーラスとの共演で披露され、大きな拍手を浴びました。朝からはっきりしない空模様にもかかわらず来館してくれた方々には、恒例の桜草の苗が配られました。様々な催しを通し、環境への意識を高めることができた「かんきょう祭り」でした。
(武田侃蔵)

新河岸川をめぐる3題

1. 志木市周辺の新河岸川景観めぐり



鬱蒼と茂る河川樹林

11月1日(日)に、埼玉県田園都市づくり課の主催による「新河岸川景観プロジェクト」の第2回調査が、志木市内で行われました。志木市の環境団体を中心に、かわごえ環境ネット会員、富士見市、朝霞市の市民ら約60人が3班に分かれて、志木市民会館をスタートしました。

市場通り、富士塚、崖線の樹林などを見なが



3代にわたる護岸堤防

ら新河岸川に到着、柳瀬川との合流点、野火止用水跡、江戸時代と大正時代、それに平成に大改修した3代にわたる堤防が見られ、治水哲学の変遷を知ることができました。輪中のように囲まれた堤の跡や、道路よりもかさ上げされた水田など、治水の大切さを考えさせられた景観見学会でした。

2. 川越市内の新河岸川川歩きマップ作り

11月4日(水)9時から、川越市北公民館会議室で、新河岸川景観プロジェクトを担当する埼玉県田園都市づくり課の職員と、かわごえ環境ネットの会員5人で、新河岸川景観川歩きマップ作りの川越市上流部分の調査結果を報告し

ました。赤間川公園橋から仙波大橋までの間をサイクリングする場合の快適なルート、史跡等の好ましい景観、途中のトイレや休憩所等を地図に記入し、改善を求める地点等も説明し意見交換をしました。

3. 新河岸川流域フォーラム、東村山市で

11月14日(土)、新河岸川流域川づくり連絡会と新河岸川流域総合治水対策協議会の共催に

よる「平成21年度新河岸川流域フォーラム」が東村山市で開かれました。副題は「ゲリラ豪雨

からまちを守る、清流でまちを潤す」とあって、治水と親水の兼ね合いの難しさを示す会議となりました。

かわごえ環境ネットからは市川衛さんが参加しました。18団体が加盟している新河岸川流域川づくり連絡会及び新河岸川水系水環境連絡会

には、川越市からの団体加入はありませんでした。今後は「里川づくり」運動などで川への関心が高まりますので、かわごえ環境ネットを中心に対策を考える必要があると思います。

(以上3題 武田侃蔵)

川越市からの報告・おしらせ

平成21年度版かわごえの環境(第3号)の公表と意見募集

環境政策課



「平成21年度版かわごえの環境(第3号)第二次川越市環境基本計画年次報告書」が完成しました。(会員の皆様には本号と併せて送付させていただきます。)

また、施策・事業の推進と計画の見直しに反映させるために、同報告書に対する意見や提案を募集しています。募集の締切は平成21年12月28日(月)で、同報告書の中にある意見様式に、ご意見及び住所、氏名等の必要事項を明記し、環境政策課まで提出ください。

なお、川越市ホームページからも閲覧、意見の提出ができます。

提出先・問い合わせ：環境政策課

Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800

E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

川越市環境展 in さんぱくを実施しました

環境政策課



10月31日(土)・11月1日(日)に伊佐沼公園ほかで開催された川越産業博覧会の中で、「川越市環境展 in さんぱく」をバンテアン1階中会

議室において実施しました。

川越市環境部では、クロスワードクイズ、市民環境調査、エコチャレンジファミリー機器展示、ソーラー工作教室を行いました。

川越市環境部以外には、東京電力(株)川越支社、武州ガス(株)、昭和工業(株)など9事業者が出展し、2日間で延べ765人の参加者がありました。

なお、今年度の川越産業博覧会では、グリーン電力証書を購入し、会場で使用した1,000kW分の電力を川越産の太陽光発電によるグリーン電力でまかないました。

近隣市の環境行政「市民参加に工夫をこらす富士見市」

1. 「富士見市をきれいにする条例」の啓発



駅前で啓発パンフを夜も配る推進員たち

2007（平成19）年6月に富士見市で、議員提案による「富士見市をきれいにする条例」が制定され、同年10月から施行されて2年になりましたので、10月1日から20日にわたって啓発

キャンペーンを行いました。富士見市環境推進市民会議推進員、環境課職員、それに市議会の議員も加わって駅前で啓発パンフレットの配布を行いました。会社帰りの通勤者や学生が多い夕方6時から約1時間、手分けをして路上喫煙防止などを訴えました。

また、富士見市美化推進計画策定にあたり、市民・事業者も参加した美化推進計画検討委員会をつくり、検討を重ねております。現在の「市民の努力義務」に頼る緩やかな内容から、「路上喫煙禁止地区」などを設ける規制強化に踏み切るか、市民の協力を得る方策など、関心がもたれています。

2. 環境推進市民会議を4ブロックの地域割りに

富士見市の環境基本計画の推進役を担う「富士見市環境推進市民会議」は、町会推薦のほか市民と事業者で構成されて、温暖化対策やまち美化に関する様々な取り組みを行ってきました。

今年度から、活動の単位を市内4ブロック制に切り替え、より身近な地域での活動ができるようになりました。今後の活動の課題とその成果の検証が待たれます。

3. 「みどりのカーテン」普及に「種」を配布



富士見市役所の「緑のカーテン」

地球温暖化対策の一つとして「みどりのカーテン・壁面緑化事業」を率先して進めている富士見市では、今年度は庁舎南側に昨年の4倍の61.2mまで伸ばし、ゴーヤ、ヘチマの2種のツルを絡ませた緑のカーテンを作りました。そして、10月24日に行われた環境と産業商工関係を含



富士見ふるさと祭り

めた総合展「ふるさと祭り」会場で8粒入りの種袋を1,800人配布しました。小中学生の環境問題啓発ポスター、動物・昆虫の展示、フリーマーケット、産業関係の展示と、「ふるさと祭り」は多数の市民の参加でにぎわいました。

（以上3題 武田侃蔵 写真提供：富士見市）

理事会・専門委員会の活動報告

社会環境部会

今年8回目の社会環境部会の例会は、11月14日(水)に8人が参加して行われました。理事会の報告のあと、10月に行われた「川越まつりのまち美化活動」と、「2009 アースデイ・イン・川越 立門前」におけるかわごえ環境ネット会員の協力についての感謝の言葉が、代表とグループリーダーから述べられました。今年の経験を生かして来年の計画に反映させる方策が必要だとの意見が出されました。特に「川越まつりのまち美化対策」では、市民参加と主催者との関係について、参加者を交えての検証が必要だとの意見が出されました。

そのほか、さいたまスーパーアリーナで11月2・3日に開かれた「ストップ温暖化 SAITAMA フェア」、11月8日の川越水上公園における「さいたまエコフェスティバル 2009」の参加報告がありました。テーマに沿った展示とあわせ、かわごえ環境ネットとして「かわごえアジェンダ 21」のチェックシートを活用した啓発活動が、参会者の関心をひきました。

ついで、今年度の「行動計画表」の3回目の点検をし、グループごとに進捗状況と今後の計

画について報告がありました。

1) 地球温暖化対策グループでは、県の「エコライフ DAY 冬のチェックシート」に参加し、昨年同様、市内公民館に協力依頼をすることにし、必要枚数の申請をすることにしました。

2) 環境保全・資源化推進グループでは、11月29日(日)の南小畔川清掃活動の計画が説明されました。また、北公民館で行われた「有機野菜講座」が終わり、受講生による公民館登録グループができて、有機野菜づくりの啓発活動を続けられることになりました。

また、11月11日に川鶴公民館の環境セミナーで、松岡壽賀子さんを講師に「水は命だ」と題した勉強会が開かれ、47人が受講しました。17人は水を持参して分析してもらい、安全な水の大切さを実感しました。

3) まち美化グループでは、定例の活動のほかに、今年3回目の「落書き消し」を12月19日(土)に、恒例の「歳末まち美化活動」を12月23日(祝)に行う計画が示されました。

(社会環境部会代表：渡辺利衛)

自然環境部会

10月12日(月)は、埼玉県から委託された県民参加生き物モニタリング調査(川越地区)の魚類調査が4名の参加で、鯨井の川越市資源化センター及びなぐわし公園計画地周辺の湧水掘において実施されました。その結果、希少種を含む予想以上の魚類の生息が確認され、埼玉県への報告とは別に、川越市に対しては、来年度早々に始まる、なぐわし公園水路工事では、生物多様性の保全には十分配慮した形になるように、別途の詳細報告書を提出することにしました。調査結果の概要は記事をご覧ください。

10月13日(月)は、(仮称)川越市森林公園計画地において定例の植物調査と埼玉県から委

託された県民参加生き物モニタリング調査(川越地区)の植物調査が7名の参加で実施されました。また、11月10日(火)にも同地での植物調査が6名の参加で行われました。県の植物モニタリング調査は今回で3回目となりましたが、日当たりが悪いためか県からの調査対象になっている外来種が予想以上に少ないことがわかりました。

10月21日(水)は、埼玉会館5B会議室において県民参加生き物モニタリング調査の中間報告会が開催され、本会からは2名が代表で出席して進捗状況の報告を行いました。

11月6日(金)は、10月12日に実施した鯨

井地区の「なぐわし公園計画地周辺の湧水堀に生息する魚類調査結果報告書を基に、公園整備課なぐわし公園建設担当部署と現在進行中の水路工事について話し合いを行いました。自然環境部会からは、魚類調査に携わった4名が出席し、希少な魚類の保全を重視した水路工事について意見交換をしました。また、年内に再度の打合せを要請致しました。

11月13日(金)は、川越市役所7G会議室において「11月度自然環境部会」が8名の参加で

開催されました。最初に、(仮称)川越市森林公園計画地における植物調査活動の報告と、10周年記念事業「(仮)川越の自然」冊子の第1回編集打合せ会の報告がありました。続いて、鯨井地区なぐわし公園計画地周辺の湧水堀における魚類調査結果報告と公園整備課との打合せ結果報告がありました。事務局からは、南小畔川清掃活動への参加要請と、環境セミナーin埼玉への参加案内がありました。

(自然環境部会代表：大辻晃夫)

これから開催されるイベント等のお知らせ

かわごえ環境フォーラム「環境活動報告集」へのレポート投稿を追加募集します

2010年2月20日(土曜日)10:00-16:30に川越駅東口多目的ホール(クラッセ川越6階)で開催される「第8回かわごえ環境フォーラム」。この行事に合わせて発行する「かわごえ環境活動報告集」のレポート投稿は、2009年12月21日(月)締切となっています。すでに第1次申

込の期限は過ぎていますが、同日まで投稿と発表申込を追加で受け付けますので、本会会員の有無を問わずぜひご投稿ください。

レポートの執筆・投稿の方法は、かわごえ環境フォーラムホームページ(<http://kawagoekankyo.net/forum/>)をご覧ください。

12月23日(祝)に恒例の「歳末まち美化活動」を開催します

本会の主催として実施する清掃活動イベントとして恒例となっている「歳末まち美化活動」を12月23日(祝)に実施します。川越の中心市街地を、ごみを拾いながら歩いてみると、違った観点から町を見つめ直すことができます。

9:30に本川越駅前交番に集合してから、数方向に分かれて立門前通りの旧川越織物市場まで徒歩での清掃活動を行います。終了は12:30を予定しています。

会員内外から広くボランティアを募集しますので、積極的な参加とともに多くの方々へ参加を呼びかけていただければと思います。

軍手を各自ご持参ください。トンゴや袋などの用具はまとめて用意します。

参加申込・問い合わせについては、武田侃蔵(Tel.090-2521-5770)又は期間限定のメールアドレス(clean@kawagoekankyo.net)までお願いします。

かわごえ環境ネット主催・出展行事(記号の凡例はイベントカレンダーをご参照ください)

★(仮称)川越市森林公園計画地 樹木調査
 日時：12月8日(火)9:30-12:30
 集合場所：川越南文化会館(ジョイフル)
 (川越市今福1295-2)
 持ち物：筆記具
 問い合わせ：賀登(049-234-9366)
 植物調査と折々の自然観察・保全活動をして

います。毎月第2火曜日定例(次回は1月12日)、事前連絡はいりません。

●社会環境部会(2009年12月度)

日時：12月9日(水)15:00-17:00
 場所：川越市役所本庁舎7G会議室
 (川越市元町1-3-1)

毎月第2水曜日に開催で次回は1月13日

●自然環境部会 (2009年12月度)

日時: 12月11日(金) 15:00-17:00

場所: 川越市役所本庁舎 7G 会議室

毎月第2金曜日に開催で次回は1月8日

◆広報委員会 (2009年12月度)

日時: 12月15日(火) 9:30-10:30

場所: 川越市役所5階フリースペース

◆かわごえ環境フォーラム実行委員会(第5回)

日時: 12月21日(月) 13:00-14:00

場所: 川越市役所本庁舎 3A 会議室

◆理事会 (2009年度第9回)

日時: 12月21日(月) 14:00-15:30

場所: 川越市役所本庁舎 3A 会議室

★森の巣箱づくり

日時: 1月24日(日) 9:00-12:30

場所: 川越南文化会館 (ジョイフル)

工作室

募集: 親子10組

費用: 100円

主催: 自然環境部会

申込方法は、12月25日に発行される広報川越1213号をご覧ください。

雑木林の野鳥は営巣できる木の穴が少なく住宅難です。昨年試験的に掛けた巣箱からはシジュウカラが巣立ちました。今年ももっと用意してあげようではありませんか。

★第8回かわごえ環境フォーラム

日時: 2月20日(土) 10:00-16:30

場所: 川越駅東口多目的ホール(クラッセ川越6階)(川越市菅原町23-10)

会員・関係団体の主催行事

●クリーン&ハートフル川越

問い合わせ: 武田侃蔵 (Tel.090-2521-5770)

☞「やめましょう! 歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

1. 第1火曜日・第3木曜日

◆12月1日(火)・17日(木)

◆1月5日(火)・21日(木)

13:30-15:00 に川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで

2. 第2日曜日

◆12月13日(日)・1月10日(日)

9:30-11:00 に本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

3. 第4土曜日

◆12月26日(土)・1月23日(土)

13:30-15:00 に川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで

4. 恒例の「歳末まち美化活動」

◆12月23日(祝) 9:30-12:30

P.12の記事をご覧ください。

5. 第3回「市内公共物落書き消し」

◆12月19日(土) 9:30-11:30

本川越駅交番横集合、数方向に分かれて

2時間活動して本川越で解散。

6. 恒例の「成人式会場周辺美化活動」

◆1月11日(祝) 11:00-15:00

11:00 川越運動公園入口駐輪場に集合。広場と周辺清掃。15:00 ごろ解散。

●特定非営利活動法人

武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ: 谷津弘子 (Tel.049-224-9118)

☞森林公園自然観察会

◆12月20日(日)・24日(木) 当会主催

国営武蔵丘陵森林公園南口に10:20集合
15:00 過ぎ終了解散。参加費200円、入園料は必要。お弁当持参のこと。

20日は、冬越しに訪れたカモや野鳥を観察します。越冬中の昆虫も探しましょう。
24日は、年内最後の観察会です。ルリビタキやジョウビタキ等、冬越しに訪れた野鳥を探しましょう。

◆1月10日(日)公園との共催

国営武蔵丘陵森林公園西口に10:15集合、
15:00 過ぎ終了解散、参加費無料、入園料280円(団体扱い)。昼食、観察用具、雨具持参。雨天決行。

1月には、日本野鳥の会の安西英明さんを講師に、カモ類や冬越しの昆虫などを観察します。暖かい服装でお出かけください。

●福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

☞おいしく・楽しく農業体験

◆12月12日(土) 9:30 集合

(お碗、お箸持参)

◆1月9日(土) 9:30 集合

集合：明見院 (川越市今福 677)

クラブ会費：1家族 1,000円 (保険代・備品代等)、クラブ員でない参加者は1人100円 (保険代) とします。

年間予定表 (活動日は第2土曜日です)

月	日	活動内容 (2月以降は昨年までの例)
12	12	ブロッコリー・大根畑の片付けと芋煮会
1	9	雑木林の手入れ・落ち葉掃き
2	13	雑木林手入れ
3	13	雑木林手入れ 焼き芋・チキンスープ・あそぼうパン

●東洋大学小瀬研究室

申込・問い合わせ：小瀬博之 (できるだけメール・Fax でお願ひします。E-mail: hkose@eng.toyo.ac.jp, Tel./Fax.049-239-1532)

ホームページ：http://team-6.eng.toyo.ac.jp/hue

☞キャンパス内の雑木林を巡るエコツアー

◆(予定) 1月8日(金) 9:30-12:00

場所：東洋大学川越キャンパス

(川越市鯨井 2100)

人数：15名程度まで(資料準備等の都合上、1月4日までに名前・ご連絡先をお知らせください)、参加費：無料

川越キャンパスでは、8ha 近くの雑木林を保全しており、このたび、地域住民や自然環境に興味のある方々とともにこの雑木林を巡るエコツアーを試験的に実施します。この行事をきっかけとして、今後、地域と大学の環境コミュニケーションを継続的に行っていきたくと考えています。参考：川越キャンパス生態系データベース <http://team-6.eng.toyo.ac.jp/practice2-2009/>

☞図形処理演習最終発表会

◆(予定) 1月26日(火) 13:10-16:20

場所：東洋大学川越キャンパス 421 教室

人数：30名程度まで(資料準備・集合場所の連絡の都合上、1月22日までに名前・連絡先をご連絡ください)、参加費：無料

環境建設学科2年生を対象とした演習科目「図形処理演習」では、2007年度・2008年度に成果発表会を「まちなか発表会」として公開で実施してきました。今回は、地域と学生・大学との環境コミュニケーションの一環として、学内で公開発表会を実施します。内容は、19チーム73人で川越中心市街地、霞ヶ関駅、鶴ヶ島駅、新河岸駅の周辺を踏査して作成した「川越グリーンマップ Ver.2α」をもとに、担当地域のまちづくりを提案するものです。

参考：川越グリーンマップ Ver.2α

<http://team-6.eng.toyo.ac.jp/kawagoe-greenmap-ver2a/>

●川越市

☞星空観察の集い

◆1月9日(土) 17:30-19:30

会場：児童センターこどもの城

(川越市石原町 1-41-2)

対象：市内在住または在勤の小学生以上 (小学生は保護者同伴)

定員：先着 40人

参加費：無料

申し込み：環境政策課 (Tel.049-224-5866)

●(財)埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一 (Tel.049-222-0957)

☞伊佐沼探鳥会

時間：10:00 集合-12:00 (小雨決行)

集合：伊佐沼の西側にある東後楽会館入口 近くの蓮見橋

持ち物：筆記用具、あれば双眼鏡

参加費：300円、高校生以下 100円

(保険料・資料代として)

◆12月13日(日)

冬鳥の小鳥たちツグミ、アオジ、ジョウビタキ、モズを公園の森で観察。沼ではカモの仲間が勢揃い。通年いるカルガモのほか、マガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、潜水性のホシハジロ、キンクロハジロも飛来しています。

◆1月10日(日)

今年も恒例のガン、カモの県下一斉の調

査を行います。カモの種類ごとに数えます。平成21年の調査では、伊佐沼で8種のカモ、合計269羽が観察されています。沼は氷が張ってカモたちは上で休んでいます。今年もパンダのような模様の子アヒサに会えるでしょう。

お知らせ・編集後記

●会員からの活動報告・告知等を随時募集

会員の活動報告をぜひお知らせください。写真も掲載可能です。また、本会会員や関連団体等が主催する公開イベント等の情報の掲載等も受け付けています。2010年1月号(No.039, 12

月下旬発行予定)の掲載原稿は、12月11日(金)事務局必着です。電子データでいただけると助かります。詳しくは、かわごえ環境ネット事務局までお問い合わせください。

●編集後記

◆今年も早いもので年末を迎えます。月刊かわごえ環境ネットも38号を数え、3年間以上月刊誌として広報活動を行ったこととなります。発行時は12月上旬で、年末のご挨拶はまだ早いです。どうぞよい年をお迎えください。

このたび、東洋大学川越キャンパスの雑木林を巡るエコツアーを試験的に実施することにしました。大学で7年間自然観察を行う演習を継続的に実施してきており、環境への取組の一環として、さまざまな方のご意見をいただく中で、地域の方にもお越しいただいて定期的に行うのがよいと考えました。最近、キャンパス内の樹木が枯渇しつつあり、後世に雑木林を

残すための取組も、みなさんとともに考えていきたいと思っています。(こせ)

◆去る11月7日(土)午後、仲町の茶陶苑で、「歴史まちづくり法」シンポジウムが開かれました。主催は川越織物市場の会とNPO法人川越蔵の会で、国土建設省と文化庁の担当官と(下写真)三重県の都市景観審議会長の三重大学の准教授の3人が「歴史と文化を生かしたまちづくり」について話しました。この法律の正式名称は「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」。「水と緑と伝統のまち川越」でこそ「歴史的風致」が生きるのではと感じました。

(KT)



イベントカレンダー (12月2日~1月30日)

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外を対象にした公開・出展イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事を参照ください。			12/2	3	4	5
12/6	7	8 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地樹木調査	9 ●15:00 社会 環境部会	10	11 ○本誌1月号 原稿投稿締切 ●15:00 自然 環境部会	12 ◎9:30 おいし く・楽しく農 業体験
12/13 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐 沼探鳥会	14	15 ◆9:30 広報委 員会	16	17 ◎13:30 まち 美化啓発運動	18	19 ◎9:30 市内中 心部落書消し
12/20 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 自然観察会	21 ○「第8回かわ ごえ環境フォー ラム」レポート 投稿期限 ◆13:00 かわご え環境フォーラ ム実行委員会 ◆14:00 理事会	22	23 天皇誕生日 ★9:30 歳末ま ち美化活動	24 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 自然観察会	25	26 ◎13:30 まち 美化啓発運動
12/27	28 ◎「かわごえの 環境(第3号)」 意見提出期限	29	30	31	1/1 元日	2
1/3	4	5 ◎13:30 まち 美化啓発運動	6	7	8 ◎9:30 キャン パス雑木林エ コツアー ●15:00 自然 環境部会	9 ◎9:30 おいし く・楽しく農 業体験 ◎17:30 星空 観察の集い
1/10 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐 沼探鳥会 ◎10:15 武蔵 丘陵森林公園 自然観察会	11 成人の日 ◎11:00 成人 式会場周辺美 化活動	12 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地樹木調査	13 ●15:00 社会 環境部会	14	15 ○本誌2月号 原稿投稿締切	16
1/17	18	19	20	21 ◎13:30 まち 美化啓発運動	22	23 ◎13:30 まち 美化啓発運動
1/24 ★9:00 鳥の巣 箱づくり	25	26 ◎13:10 図形 処理演習最終 発表会	27	28	29	30

月刊 かわごえ環境ネット 2009年12月号 No.038

発行日 2009年12月2日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>